## 会場　弘前大学 50 周年記念会館　２階

**お手洗い：１階**

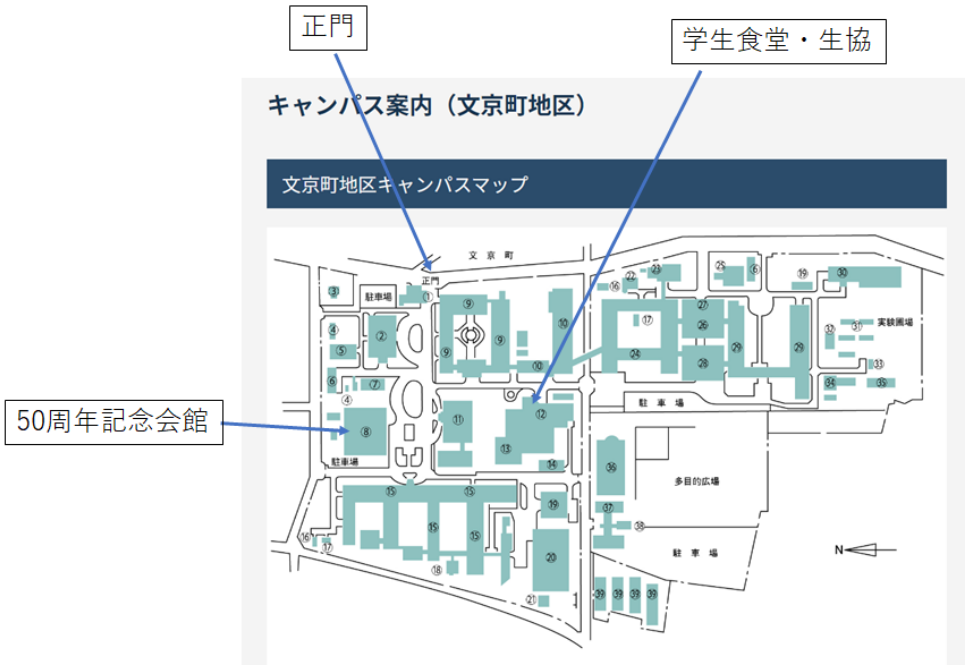
**自動販売機：１階　階段裏**

**階段付近の椅子･テーブルご自由にお使いください**

**基調講演･口頭発表･総会：岩木ホール**

**ポスター発表　　：会議室２**

**休憩･ミーティング　　：会議室４**



**Timetable**

**2023 年 8 月 25 日（金）**

| | |
|---|---|
| 10:30～12:00 | 自由討論（会議室 4 をご利用ください） |
| 12:30～13:00 | 受付 |
| 13:00～13:05 | 開会の挨拶 |
| 13:05～14:25 | セッション 1 |
| 14:25～14:30 | coffee break |
| 14:30～15:30 | セッション 2 |
| 15:30～15:35 | coffee break |
| 15:35～16:47 | セッション 3 |
| 16:47～16:55 | coffee break |
| 16:55～17:40 | ポスター奇数番号 |
| 17:40～18:25 | ポスター偶数番号 |
| 18:30～20:30 | 懇親会 |

**2023 年 8 月 26 日（土）**

| | |
|---|---|
| 9:00～10:00 | 基調講演 |
| 10:00～10:05 | Coffee break |
| 10:05～11:17 | セッション 4 |
| 11:17～11:20 | 閉会の挨拶 |
| 11:30～12:00 | 総会 |

**2023 年 8 月 25 日（金）　　☆：トラベルアウォード、★学生発表賞対象**

**セッション 1　　(座長：金丸　周司)　(発表 15 分　質疑応答 5 分)**

**☆★O1　13:05～13:25**

好熱性溶原性ファージΦOH2 の溶原化と切出し機構の解明

〇田中理仁 [1] 、藤野　泰寛 [1]、 森一樹 [1]、 田代康介 [1]、 岩本武夫 [2]、 廣政恭明 [1]、土居克実 [1]

（1 九州大大学院生物資源環境科学府 、 2 慈恵医科大　医学部）

**☆★O2　13:25～13:45**

溶原性ファージ感染による欠陥プロファージの排除

○内田勇貴 [1]、今村大輔 [2]、佐藤勉 [1,2]

（1　法政大・理工学研究科、 2 法政大・生命科学部）

**☆★O3　13:45～14:05**

細菌間コミュニケーションを介した緑膿菌のプロファージ誘導

○上原礼佳 [1]、吉澤晋 [3]、木暮一啓 [3]、野村暢彦 [2, 4]、豊福雅典 [2, 4]

（1 筑波大院・生命農学、 2 筑波大・生命環境、3 東京大・AORI、 4　筑波大・MiCS）

**☆★O4　14:05～14:25**

*E. coli* K12 W3110 型 LPS 糖鎖の構造改変が及ぼす φX174 感染スペクトルへの影響解析

〇笹野　紫織, 増田　裕一, 稲垣　穣　（三重大大学院　生物資源学研究科）

**セッション 2　　（座長　内山　淳平）(発表 15 分　質疑応答 5 分)**

**☆★O5　14:30～14:50**

Host Recognition Mechanism of Jumbo Phage vB_BceM_WH1 Infecting *Bacillus cereus* Group

〇Muhammad Azka Aufa Ramadhani[1], Minami Matsunaka[1], Yasuhiro Fujino[1], Takeo Iwamoto[2] Yasuaki Hiromasa[1] and Katsumi Doi[1]

（1Grad. Sch, Bioresour. Bioenviron Sci.,Kyushu Univ., 2 Jikei Univ Sch, Med）

**☆★O6　14:50～15:10**

ファージ φX174　スパイク H タンパク質 C 末端ドメインの LPS　結合残基の探索

〇伊藤恭平、稲垣穣、増田裕一　（三重大・生物資源学研究科　生物圏生命科学専攻）

**☆★O7　15:10～15:30**

Functional engineering of bacteriophages for cancer cell-targeted gene delivery

○Takashi Sugano, Srivani Veeranarayanan, Yoshifumi Aiba, Kazuhiko Miyanaga, XinEe Tan, Kanate Thitiananpakorn, Shinya Watanabe, Longzhu Cui

（Div. of Bacteriology, School of Medicine, Jichi Medical University）

**セッション 3　　（座長　今村　大輔）(発表 15 分　質疑応答 3 分)**

**O8　　15:35～15:53**

淡水環境から分離した緑膿菌に感染するファージについて

○福島淳、神田優人、瀬田隼輔、 渡邉彩花、 今野妥璃陽（秋田県大　応用生物）

**O9　　15:53～16:11**

醤油乳酸菌のバクテリオファージ感受性を決定する菌体外多糖合成遺伝子群の同定

○脇中琢良 [1]、松谷峰之介 [2]、渡部潤 [1,3]、茂木喜信 [1]、徳岡昌文 [4]、大西章博 [4]

（1 ヤマサ醤油株式会社、2 東京農業大・生物資源ゲノム解析センター、3 福島大農学群 4 東京農業大・応用生物科学部）

**O10　16:11～16:29**

マダイの滑走細菌症に対するファージの治療効果

〇楠本晃子[1,2]、石丸克也[3]、秀島悠[2]、中井敏博[4]、近藤裕介[4]

(1 中国学園大・現代生活学部、2 帯広畜産大・動物・食品検査診断センター、3 近畿大・水産研究所、4 広島大大学院・統合生命科学研究科)

**O11　16:29～16:47**

多剤耐性緑膿菌感染症に対する次世代型抗菌酵素の創出

○内山淳平[1]、内山伊代[1]、福田憲[2]、玉井栄治[3]、金丸周司[4]、萩谷英大[1]、松下治[1]、津久井利広[5]、松崎茂展[6]

(1 岡山大、2 高知大、3 松山大、4 東京工業大、5 日本全薬工業、6 高知学園大)

**ポスター発表（奇数番号 16:55～17:40、偶数番号 17:40～18:25）　★学生発表賞対象**

**★P1** Isolation, Characterization and Genomic Analysis of a New Bacteriophage KIT07 infecting *Escherichia coli* and *Salmonella* spp.

〇Nguyen Song Han and Kaeko Kamei (Kyoto Institute of Technology)

**★P2** 大腸菌に感染する新規ファージの標的レセプターの同定

〇金子知義[1,3]、大坂利文[2]、常田聡[1,3]

（1 早大・先進理工学、2 東女医大・医、3 早大・ファージセラピー研）

**★P3** PP01 ファージの尾繊維と大腸菌レセプター分子 OmpC の相互作用

〇寺﨑 陽香、大塚 裕一　（埼玉大大学院・理工学研究科）

**★P4** 大腸菌の抗ファージ因子群 AbpA AbpB の活性化機構の解明

〇滝田彩耶、佐々木隆臣、大塚裕一　（埼玉大大学院・理工学研究科）

**★P5** 大腸菌 O157 株がもつ新規トキシン－アンチトキシンシステム ECs3274－ECs3275 の解析

〇劉可、佐々木優香、茂木優奈、吉岡瑞貴、大塚裕一（埼玉大大学院・理工学研究科）

**★P6** コレラ流行株における C TX Φ プロファージ の宿主ゲノムへの影響

〇若林丈人、佐藤勉、今村大輔　（法政大・生命科学部 生命機能学科）

**P7** 緑膿菌を溶菌するバクテリオファージの治療効果と免疫応答

米丸眞帆、畑地良海、○橋口周平（鹿児島大・工学専攻・化学生命工学プログラム）

**★P8** カプシド F タンパク質への変異導入によるバクテリオファージ φ X174 の感染スペクトルの改変

○岡田美沙、増田裕一、稲垣穣（三重大大学院・生物資源学研究科）

**★P9** 枯草菌溶原性ファージ Φ Y7 による spoVK 遺伝子 再編成

〇岡脇佑奈、今村大輔、佐藤勉（法政大・生命科学部）

**★P10** Characterization of phage-resistant mutants of *E. coli*

○Phuoc-Dung Nguyen, Ruka Hara, Hirofumi Sunahara and Kaeko Kamei (Kyoto Institute of Technology)

**P11** The single-stranded RNA virus evolves quickly by exposing to high temperatures

○Md. Tanvir Hossain[1,2], Akiko Kashiwagi[2,3]

(1 current: Noakhali Science and Technology Univ., 2 Iwate Univ. 3 Hirosaki Univ.)

**★P12** 高温適応進化実験で得られた Qβ ファージの変異体の解析

○佐藤実紀[1]、Md Tanvir Hossain[2]、柏木明子[1,2]（1 弘前大・農学生命、2 岩手大・連合農学）

**2023 年 8 月 26 日（土）**

**基調講演 9:00～10:00　　（座長　柏木　明子）**

RNA ファージ研究の挑戦

井口 義夫　（元帝京大・理工学部・バイオサイエンス学科）

**セッション 4　　（座長　大塚　裕一）(発表 15 分　質疑応答 3 分)**

**O12　10:05～10:23**

T4 ファージ尾繊維全長の予測構造から得られた知見

〇金丸周司　（東京工業大・生命理工学院）

**O13　10:23～10:41**

Ｍｕファージ尾繊維とＰ２ファージスパイクの細胞膜への吸着

羽鳥隼矢、豊田尚史、吉田聖、〇武田茂樹（群馬大・大学院理工学府）

**O14　10:41～10:59**

大腸菌内で複製する mini-RNA レプリコンの作製

〇柏木 明子　（弘前大・農学生命科学部）

**O15　10:59～11:17**

枯草菌溶原性ファージの DNA 組換え

小野由花乃、菅野貴史、茶谷朋哉、伊神のぞみ、今村大輔、〇佐藤勉 (法政大学・生命科学部)

**総会 11:30～12:00**